

携帯電話－固定電話アダプタ 公衆電話オプション 補足説明書

本説明書では、携帯電話アダプタの公衆電話オプションの機能について説明します。

セットアップ・通常の使用方法・各種設定などについては以下の取扱説明書を参照してください。

- 「携帯電話－固定電話アダプタ (Bluetooth 接続) 取扱説明書」
- 「携帯電話－固定電話アダプタ (FOMA ケーブル接続) 取扱説明書」
- 「携帯電話－固定電話アダプタ (Bluetooth/FOMA 両対応) 取扱説明書」

目次

1	セットアップ	2
1.1	公衆電話の接続	2
1.2	公衆電話機能の有効化	2
1.3	課金時間の設定	2
1.4	ナンバーディスプレイの設定	2
1.5	特定番号への発信の許可・禁止などの設定	3
1.6	市外局番の設定	3
2	機能説明	4
2.1	パスワード	4
3	設定モード	5
3.1	公衆電話機能	5
3.2	課金時間設定	5
3.3	極性設定	5
3.4	市外局番自動付加	6
3.5	ナンバーディスプレイ	6
3.6	パスワード	6
3.7	発信制限 (既定番号・無料通話)	7
3.8	発信制限 (既定番号・有料通話)	7
3.9	発信制限・課金設定 (個別番号)	8

1 セットアップ

1.1 公衆電話の接続

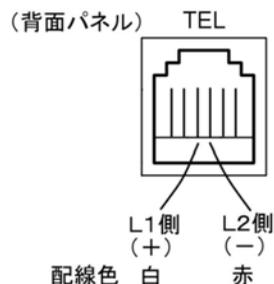
公衆電話の回線入力端子を、本アダプタ背面のモジュージャック (TEL) と接続してください。

公衆電話の配線には極性がありますので、下図のように接続してください。

(電話機の端子が Y 端子などモジュラープラグでない場合、市販の変換アダプタ等を使用して、下図のようになるように配線して下さい。)

配線の都合で逆の接続になる場合には、本アダプタの極性設定 (3.3 節) を使用して下さい。

(極性が逆になっていると公衆電話からは設定モードの操作ができない場合がありますので、家庭用電話機などで設定を行って下さい)。



1.2 公衆電話機能の有効化

公衆電話機能は標準でオフになっています。

有効にするには、3.1 節に従い設定して下さい。

1.3 課金時間の設定

10 円で通話できる時間を設定して下さい。詳細は 3.2 節を参照して下さい。

設定した時間[秒]ごとに本アダプタから課金パルスが出力され、公衆電話で 10 円が課金されます。

1.4 ナンバーディスプレイの設定

接続する電話機のナンバーディスプレイ機能の有無に合わせて、本アダプタのナンバーディスプレイ機能の有効・無効を適切に設定して下さい。設定方法は 3.5 節を参照して下さい。

1.5 特定番号への発信の許可・禁止などの設定

特定の番号で始まる電話番号へ発信（有料・無料）の許可／禁止や異なる課金時間（10円で通話できる時間）を設定できます。

- ・あらかじめ設定してある電話番号に対する無料通話を許可するには3.7節を参照してください。ここに列挙してある電話番号以外にも無料通話を設定したい場合は3.9節に従い設定して下さい。
許可された番号への発信の際には、課金パルスを出力しませんので、無料通話が可能になります。ただし、公衆電話も設定した番号への無料通話に対応している必要があります。
- ・あらかじめ設定してある電話番号に対する有料通話を禁止するには3.8節を参照してください。
ここに設定されている番号は、各携帯電話会社の音声通話定額プランの対象外となる可能性のある電話番号です。そのような電話番号に個別に割り増し料金を設定したい場合には3.8節に従いその番号への発信を「禁止」に設定して、3.9節に従いその番号に別途課金時間を設定して下さい。
- ・その他、個別の番号を指定して無料通話の許可・有料通話の許可／禁止／異なる課金時間を設定するには3.9節を参照してください。

1.6 市外局番の設定

市外局番の無い電話番号をダイヤルした際、自動的に市外局番を付けて発信することができます。3.4節に従い設定して下さい。一般的には、電話機を設置する地域の市外局番を設定します。

市外局番を付加するのは1～9で始まる4桁以上の電話番号へ発信する場合です。

2 機能説明

2.1 パスワード

公衆電話は不特定多数の人が使用するため、パスワードを設定することができます。

パスワードが設定されている場合、以下の動作に制限をかけることができます。

- 1) モード設定を行うためにはパスワードの入力が必要になります。
 - 2) Bluetooth の接続・切断・ペアリング解除にはパスワードの入力が必要になります。
- パスワードについての詳細は各説明書を参照して下さい。

3 設定モード

本アダプタには、各種設定項目があり、以下の手順で設定が可能です。

各設定項目は、電源が切れても保存されます。

以下は公衆電話特有機能の説明です。基本機能についてはアダプタ本体の説明書を参照してください。

- 1) 設定を開始するには、受話器を上げて「0000」を入力します。(受話器を上げた時の発信音は「ツー」または「プー・プー…」のどちらでも構いません。
- *) パスワードが設定されている場合、「設定モードです。4桁の番号を入力してください」とアナウンスが流れるので、4桁のパスワードを入力してください。
- 2) 「設定モードです。3桁の機能番号を入力して下さい」とアナウンスが流れるので、以下の通り、アナウンスに従って入力して下さい。アナウンスの途中でも入力可能です。
- 3) 設定したい機能の3桁の機能番号(本章に記載)を入力して下さい。
- 4) 現在の設定値が読み上げられます。
- 5) 各機能ごとに決められた桁数の設定値(本章に記載)を入力して下さい。
- 6) 設定に成功すると「設定しました」とアナウンスが流れます。
- 7) アナウンスに従い、再び2)から繰り返すか、設定が完了したら受話器を置いて下さい。
- *) 途中で設定を中断するには受話器を置いて下さい。

3.1 公衆電話機能

機能番号	設定値	初期値	
811	0, 1	0	公衆電話機能(課金パルス発生)の有効・無効を設定します。 0:無効, 1:有効

3.2 課金時間設定

機能番号	設定値	初期値	
812	005~ 999	060	10円ごとに通話できる時間を[秒]で設定します。 入力値が2桁以下の場合は頭に0を付けて3桁の値を設定してください。 4秒(設定値004)以下には設定できません。 正常に設定されているか、念のために実際の硬貨を投入して課金時間をテストすることをお勧めします。

3.3 極性設定

機能番号	設定値	初期値	
871	0, 1	0	公衆電話の配線には極性があります。 配線の都合で極性が逆になる場合には、本設定にて極性を反転させることができます。 0:極性反転しない, 1:極性反転する

3.4 市外局番自動付加

機能番号	設定値	初期値	
131	7桁 まで	オフ	市外局番の無い電話番号をダイヤルした際、自動的に市外局番を付けて発信します。電話機を設置する地域の市外局番を設定して下さい。 「0000」を設定すると本機能はオフになります。

3.5 ナンバーディスプレイ

機能番号	設定値	初期値	
121	0, 1	1	ナンバーディスプレイ機能の有効・無効を設定します。 接続する電話機のナンバーディスプレイ機能の有無に合わせて設定して下さい。 0:無効 1:有効

3.6 パスワード

機能番号	設定値	初期値	
199	0000～ 9999	0000	モード設定に入るためのパスワードを4桁の数字で設定します。 不特定多数の人が使用する電話機で、不必要なモード設定を防ぐために使用します。 パスワードを設定すると、受話器を上げて「0000」を入力してモード設定に入る際、「4桁の番号を入力してください」とパスワード入力が促されます。正しいパスワードを入力しないと、モード設定に進めません。 一度パスワードを設定するとリセットすることはできませんので、忘れないようにご注意ください。 設定値が0000のときにはパスワード非設定となります。

3.7 発信制限（既定番号・無料通話）

機能番号	設定値	初期値													
711	0～9	9	<p>発信時の電話番号の先頭部分を指定して、発信を許可・禁止する機能です。</p> <p>下表において、番号Nと本機能の設定値を比較して、$N \leq$設定値で始まる番号には発信することができ、そうでない番号には発信できません。例えば設定値が2のときは、110, 119, 118番には発信できますが、113, 0120, 0800番には発信できません。</p> <p>本機能で対応できない番号は3.9節の個別番号の設定にて許可・禁止を行ってください。</p> <p>番号 N 発信番号</p> <table border="0"> <tr><td>1</td><td>110（警察）</td></tr> <tr><td>1</td><td>119（消防）</td></tr> <tr><td>2</td><td>118（海上保安庁）</td></tr> <tr><td>3</td><td>113（故障受付）</td></tr> <tr><td>4</td><td>0120（フリーダイヤル）</td></tr> <tr><td>5</td><td>0800（フリーダイヤル）</td></tr> </table>	1	110（警察）	1	119（消防）	2	118（海上保安庁）	3	113（故障受付）	4	0120（フリーダイヤル）	5	0800（フリーダイヤル）
1	110（警察）														
1	119（消防）														
2	118（海上保安庁）														
3	113（故障受付）														
4	0120（フリーダイヤル）														
5	0800（フリーダイヤル）														

3.8 発信制限（既定番号・有料通話）

機能番号	設定値	初期値																			
712	0～9	2	<p>発信時の電話番号の先頭部分を指定して、発信を許可・禁止する機能です。</p> <p>下表において、番号Nと本機能の設定値を比較して、$N \leq$設定値で始まる番号には発信することができ、そうでない番号には発信しません。</p> <p>例えば設定値が1のときは、171番には発信できますが、それ以降の#で始まる番号、0180番、0570番などには発信できません。</p> <p>本機能では補いきれない場合は3.9節の個別番号の設定にて許可・禁止を行ってください。</p> <p>番号 N 発信番号(xは任意の番号を表します)。</p> <table border="0"> <tr><td>1</td><td>171（災害用伝言ダイヤル）</td></tr> <tr><td>2</td><td>#7119（各地 救急相談センター・救急安心センター）</td></tr> <tr><td>2</td><td>#9110（各地 警察総合相談センター）</td></tr> <tr><td>3</td><td>#xxxx</td></tr> <tr><td>4</td><td>1xx</td></tr> <tr><td>5</td><td>0180（呼数集計、テレドーム）</td></tr> <tr><td>6</td><td>0570（全国统一番号、ナビダイヤル）</td></tr> <tr><td>7</td><td>104（番号案内）</td></tr> <tr><td>8</td><td>00xx</td></tr> </table>	1	171（災害用伝言ダイヤル）	2	#7119（各地 救急相談センター・救急安心センター）	2	#9110（各地 警察総合相談センター）	3	#xxxx	4	1xx	5	0180（呼数集計、テレドーム）	6	0570（全国统一番号、ナビダイヤル）	7	104（番号案内）	8	00xx
1	171（災害用伝言ダイヤル）																				
2	#7119（各地 救急相談センター・救急安心センター）																				
2	#9110（各地 警察総合相談センター）																				
3	#xxxx																				
4	1xx																				
5	0180（呼数集計、テレドーム）																				
6	0570（全国统一番号、ナビダイヤル）																				
7	104（番号案内）																				
8	00xx																				

3.9 発信制限・課金設定（個別番号）

機能番号	設定値	初期値	
721, 722, 723, 724, 725, 726, 727, 728, 729, 720	電話番号 9桁まで	0000	<p>発信時の電話番号の先頭部分を指定して、発信許可・発信禁止を指定できます。</p> <p>3.7節・3.8節の発信制限（既定番号）で設定しきれない番号に対して発信の許可・禁止の設定ができます。</p> <p>本機能の設定は発信制限（規定番号 無料通話・有料通話）の設定より優先されます。</p> <p>1) 設定モードで721～720の機能番号を入力してください。</p> <p>2) 現在の設定値の確認と「番号を入力してください」とアナウンスが流れるので、指定したい電話番号を入力してください。1～9桁の範囲で入力できます。</p> <p>3) 「3桁の番号を入力してください」とアナウンスが流れるので数字を入力してください。それぞれの意味は以下の通りです（必ず3桁の数字を入力して下さい）。</p> <p>000:発信禁止 001:発信許可 機能番号 812番に設定した課金時間が適用されます。 005～998: 10円ごとに通話できる時間（5秒～998秒）を設定します。機能番号 812番に設定した時間より優先されます。 999:無料通話 指定した番号へは無料通話になります。 ※無料通話をするには公衆電話も設定した番号への無料通話に対応している必要があります。公衆電話の取扱説明書を参照してください。</p> <p>例1) 設定番号:0123, 3桁の番号:000 0123で始まる電話番号に発信出来なくなります。</p> <p>例2) 設定番号:0180, 3桁の番号:030 0180で始まる電話番号に発信可能になり、30秒で10円が課金されます。</p> <p>一度設定した番号を消去するには該当機能番号の設定値を「0000」に続き「000」を設定して下さい。</p>
	に続き		
	発信禁止 000	000	
	発信許可 001		
	課金時間 005～ 998		
	無料通話 999		